

報道関係者各位 様

2010年12月13日
ホクト株式会社

インフルエンザ A ウィルス感染におけるきのこ摂取の影響

拝啓

貴社ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
また、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、弊社ではインフルエンザ A ウィルス感染におけるきのこ摂取の影響を日本機能性食品
医用学会第 8 回大会（12 月 11-12 日、滋賀）にて発表させて頂きました内容を報道関係各位様
にお送りさせて頂きます。貴社媒体への記事掲載などご検討賜れますよう何卒 よろしくお願
い申し上げます。

敬具

<内容>

ホクト株式会社は富山大学大学院医学薬学研究部との共同研究により、きのこに抗インフル
エンザ感染作用があることを見出しました。なかでも、ぶなしめじやホンシメジで高い効果があり
ました。

発表した学会：日本機能性食品医用学会第 8 回大会（12 月 11-12 日、滋賀）
発表抄録名：インフルエンザ A ウィルス感染におけるきのこ摂取の影響

毎年インフルエンザの発生は、季節的に 11 月下旬から 12 月上旬頃に始まり、翌年の 1~3 月
頃に患者数が増加し、4~5 月にかけて減少していきます。昨年の 2009 年は季節性のインフル
エンザに加え、新型インフルエンザ（H1N1）が世界各地で大流行し、多くの犠牲者を出しました。
インフルエンザの症状は発熱（通常 38℃以上の高熱）、頭痛、全身倦怠感、筋肉痛・関節痛など
がありますが、特に高齢者や小児の感染は重症化しやすく、入院や死亡の危険が増加します。感
染予防にはワクチン接種や日頃の衛生管理が効果的とされ、また感染後の治療には、抗インフル
エンザ薬のタミフルやリレンザの使用が有効とされています。しかし、それらワクチン接種、抗
インフルエンザ薬の使用にはその副作用も懸念されています。そこで、日常の食生活の中ですこ
しでもインフルエンザ感染を抑止できる食品があれば、副作用もなく安全であるため、免疫力を
増加すると言われているきのこで抗インフルエンザ感染について研究を行いました。
新型インフルエンザと同じ H1N1 型のインフルエンザ A 型ウィルス（PR8 株）をマウスに感染さ
せ、きのこ摂取の影響を検証し、きのこに抗インフルエンザ感染作用があることを見出しました。
今回の結果から、きのこ類摂取によるインフルエンザ感染の予防や、抗インフルエンザ薬との併
用による副作用の軽減が期待されます。（詳細は別紙をご参照下さい。）

【内容の詳細・ご掲載等お問い合わせ】：

ホクト株式会社 きのこ総合研究所 稲富

TEL：026-296-3211 / Fax:026-296-1606

ホクト株式会社 販売企画室 神戸（ゴウド）

TEL：026-243-3115 / Fax:026-243-2121

（*ご掲載用データ等に関しても上記担当までお知らせ下さい。）

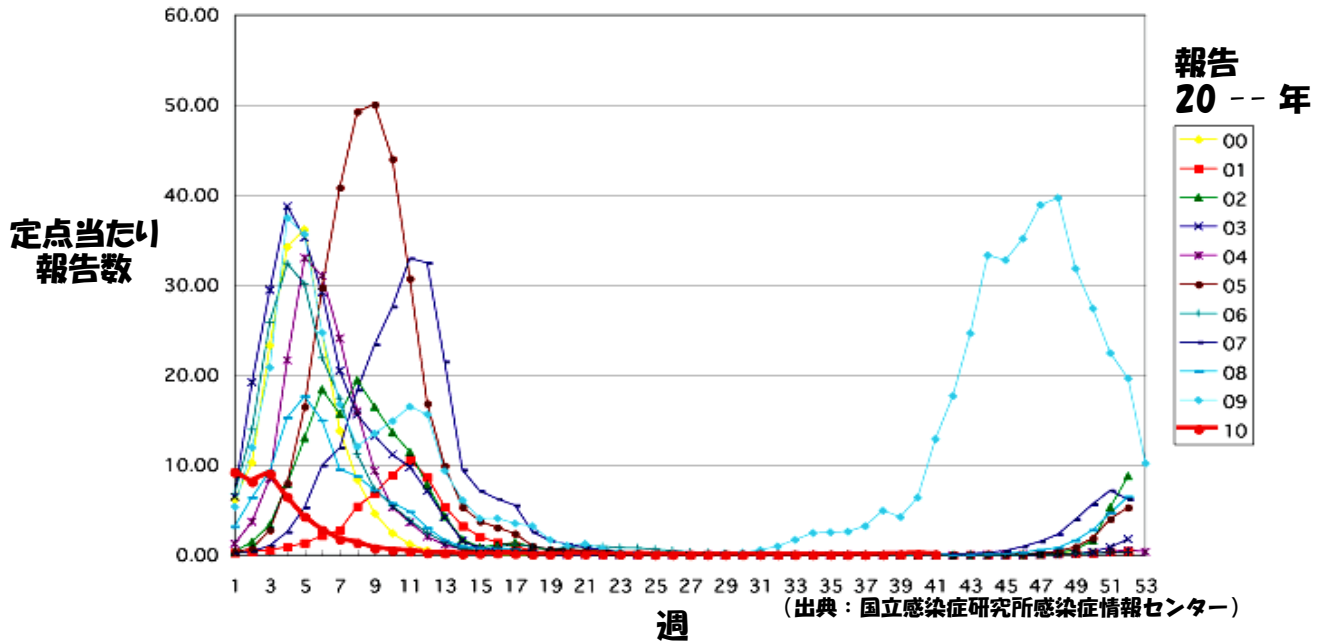
きのこの抗インフルエンザ感染作用

インフルエンザについて

インフルエンザは、インフルエンザウイルスを病原体とする急性の呼吸器感染症です。

インフルエンザは毎年季節的に流行がみられます。11月下旬から12月上旬頃に始まり、翌年の1～3月頃に患者数が増加、4～5月にかけて減少していきます。2009年には季節性のインフルエンザに加え、新型インフルエンザ(A型H1N1)が世界各地で大流行しました。

過去10年のインフルエンザ報告数と報告時期



インフルエンザの症状

- ・発熱(通常38℃以上の高熱)
- ・頭痛
- ・全身倦怠感
- ・筋肉痛・関節痛

通常は約1週間で回復しますが、小児ではまれに急性脳症を、高齢者や免疫力の低下している人では肺炎を併発する等、重症になることがあります。

インフルエンザの予防と治療

- 1) 流行前のワクチン接種
- 2) 外出後の手洗い
- 3) 適度な湿度の保持
- 4) 十分な休養とバランスのとれた栄養摂取
- 5) 人混みや繁華街への外出を控える

感染後の治療には抗インフルエンザ薬が有効です。

インフルエンザの予防・治療には、ワクチン接種や抗インフルエンザ薬が有効とされています。

一方で、ワクチンは卵から作られるため、卵アレルギーの問題、また、抗インフルエンザ薬にも副作用の問題などがあります。



そこで、免疫力を強くする作用が知られているきのこに着目し、インフルエンザAウイルス感染におけるきのこ摂取の影響を検証しました。

試験の詳細は、日本機能性食品医用学会第8回大会(12月11-12日、滋賀)にて発表されました。

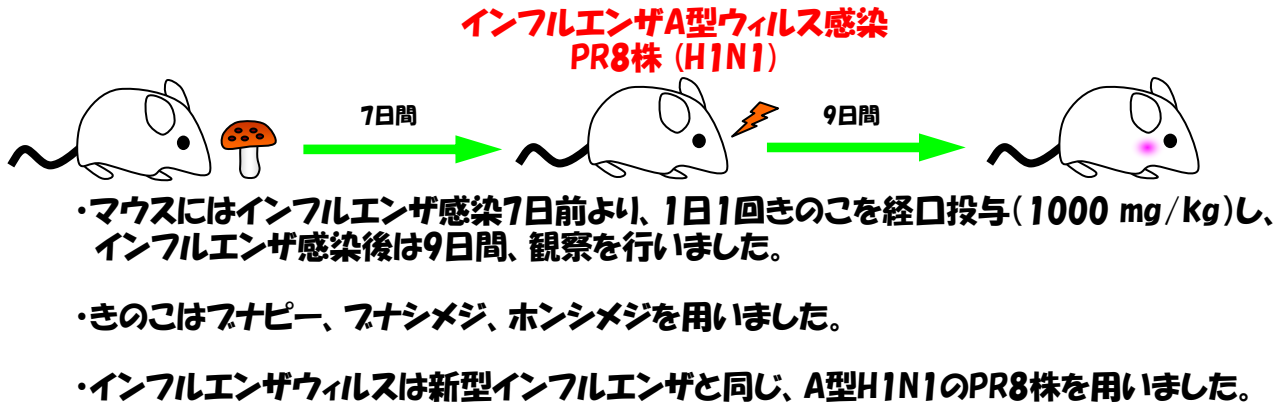


※無断での複製・転載・使用を固くお断り致します。

ホクト株式会社 本社〒381-8533 長野市南堀138-1 TEL:026-243-3111(代表)

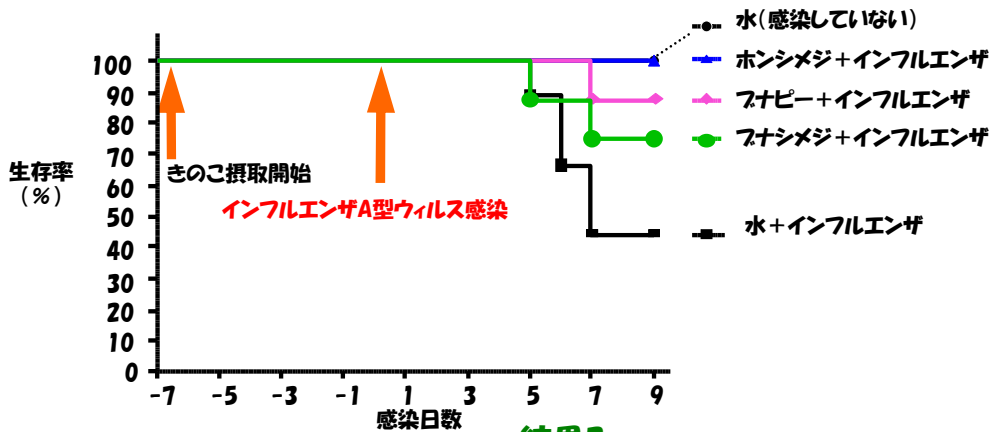
きのこの抗インフルエンザ感染作用

実験方法

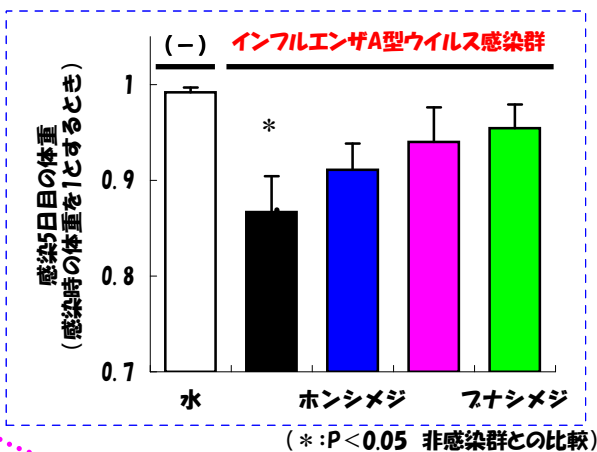


実験結果

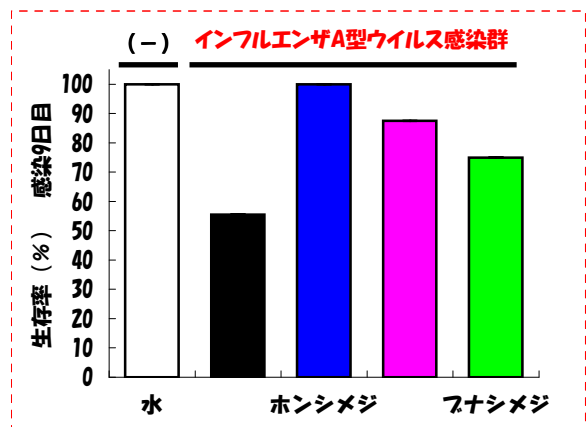
結果1: きのこ摂取群では、インフルエンザ感染後の生存率の低下が抑制されました。



結果2: きのこ摂取群では、インフルエンザ感染5日後の体重の低下が抑制されました。



結果3: きのこ摂取群では、インフルエンザ感染9日後の生存率の低下が抑制されました。



きのこ投与群(ホンシメジ、ブナピー、ブナシメジ)では、インフルエンザA型ウイルス感染による体重の低下、生存率の低下が抑制されました。
 この結果より、日常的に摂取できる安全な食材のきのこによる、インフルエンザ感染の予防や、抗インフルエンザ薬と併用して、その副作用を軽減できることが期待されます、

試験の詳細は、日本機能性食品医用学会第8回大会(12月11-12日、滋賀)にて発表されました。



※無断での複製・転載・使用を固くお断り致します。

ホクト株式会社 本社〒381-8533 長野市南堀138-1 TEL: 026-243-3111(代表)

*ブナピーはホクト株式会社の登録商標です。